

比較家族史学会

会報 比較家族史 51

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付

郵便振替(会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

比較家族史学会研究大会第五一回大会

日時 二〇〇八年十一月八日(土)

会場 梶山女学園大学星ヶ丘キャンパス

文化情報学部メディア棟〇〇一室

〒四六四-八六六二

名古屋千種区星ヶ丘元町一七番三号

※地下鉄東山線「名古屋」から「星ヶ丘」下車、⑥出口より徒歩五分(合計二三分)

り徒歩五分(合計二三分)

<http://www.sugiyama-u.ac.jp> (別掲地図参照)

問い合わせ先 梶山女学園大学文化情報学部黒柳晴夫研究室

〒四六四-八六六二

名古屋千種区星ヶ丘元町一七番三号

電話 〇五二-七八一-四〇四九

FAX 〇五二-七八三-二八六二

メールアドレス

参加費 一〇〇〇円(会員外の方も同)

弁当代 一食一〇〇〇円(同封の出欠葉書で予約して下さい)

※当日学内食堂は営業していません。キャンパス付近の食堂は地下鉄駅近くまで行かないとありません。

◆プログラム

○受付開始 午前九時二〇分

○会長挨拶 戒能民江(お茶の水女子大学)

九時五〇分〜一〇時〇〇分

【自由報告】

(報告1) 田中華子(名古屋大学大学院法学研究科特任講師)

「モンゴル国における家族関係の変化」

一〇時〇〇分〜一〇時四〇分

(報告2) 賽漢卓娜(名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士課程)

「中国人『農家の嫁』の準拠集団選択」

一〇時四〇分〜一一時二〇分

○昼休み

一一時二〇分〜一二時三〇分

【ミニ・シンポジウム】

「家長権をめぐる〈母〉機能の比較史」

司会：高田京比子(神戸大学大学院人文学研究科准教授)

「趣旨説明」高田京比子 一二時三〇分〜一二時四〇分

(報告1) 森紀子(神戸大学大学院人文学研究科教授)

「前近代中国における〈母〉機能」

一二時四〇分〜一三時一〇分

(報告2) 山辺規子(奈良女子大学文学部教授)

「西洋中世の貴族の「家」維持と〈母〉機能」

一三時一〇分〜一三時四〇分

(報告3) 島津良子(奈良女子大学非常勤講師)

「近世日本の家の存亡と〈母〉・娘・姻戚・縁戚」

一三時四〇分〜一四時一〇分

(討論)

一四時一〇分〜一五時〇〇分

○休憩

一五時〇〇分〜一五時一〇分

【ミニ・シンポジウム二】

『シングル』の視点で社会をみる―人類学的
試論

司会・田所聖志(立正大学非常勤講師)・

椎野若菜(東京外国語大学アジア・

アフリカ言語文化研究所)

「趣旨説明：シングルに注目して社会をみる
と」 椎野若菜

一五時一〇分～一五時二〇分

(報告1) 国弘暁子(お茶の水女子大学大学

院人間文化創成科学研究科研究院

研究員)

「結婚」しないヒジユラの生き方

一五時二〇分～一五時四〇分

(報告2) 田所聖志

「PNG・テワータ社会における『シング

ル』とは」 一五時四〇分～一六時〇〇分

(報告3) 植村清加(成城大学民俗学研究所

研究員)

「パリに暮らす移民のシングル」

一六時〇〇分～一六時二〇分

(報告4) 高橋絵里香(東京大学大学院博士

課程)

「ひとりであらうこと…フィンランド

の場合」 一六時二〇分～一六時四〇分

(討論)

一六時四〇分～一七時三〇分

○閉会挨拶(開催校運営委員 黒柳晴夫)

運営委員 黒柳晴夫(椋山女学園大学)

加藤彰彦(明治大学)

小玉亮子(お茶の水女子大学)

◆研究大会ミニシンポジウム概要

(1)ミニ・シンポジウム

「家長権をめぐる〈母〉機能の比較史」

前近代の世界において、家長権をふるうべき男性が、家長権を行使できない「危機」が生じることがある。典型的な例は、家長たるべき人物が未成年だったり、心身に問題があったりする場合であるが、他にも家長が長期に不在である場合や戦時などがあげられる。このような危機はかなりの頻度で発生したので、システム的に対応する体制が想定される。

このような事態に対して、公的な権力行使という観点に立てば、家長に最も近い血族の男性や公的に指名された男性が代行機能を果たしたが、実際には母など家長に近い位置にあった女性や姻族が重要な役割を果たした事例もある。このような事例について、本シンポジウムは、近世末期の日本の武士と農民の「家」、中国史を通しての「家」、中世ヨーロッパの貴族の「家」を、〈母〉機能という観点から比較検討していく。

(2)ミニ・シンポジウム二

「『シングル』の視点で社会をみる―人類学的
試論」

戦後日本に形成された核家族像から逸脱した人の生き方が、『シングルライフ』に始まり、九〇年代になると「パラサイトシングル」、「負け犬」、そして「おひとりさま」、さらに「もてない男」といった言葉で表現され世間を賑わせている。その際シングルという語は、従来の家族像からある意味外れた存在は「結婚していない／配偶者がいない人」の意でとらえられてきた。この場合シングルであることは、期待と不安という表裏一体の感情に支配される「ひとり」という状況に帰結することを前提としている。だが変化の激しい現代、世界のあらゆる地域に目をむけたとき、(結婚していたとしても)さまざまな要因で「ひとり」になる状況がある。また逆に、(結婚してなくても)伝統的に「ひとり」にはしない仕組みを用意している社会もあるし、そのように変化しつつある社会もある。そこで本シンポジウムでは「シングル」を

より広い概念として捉え、出稼ぎ者、高齢者、ジェンダー・マイノリティといった人びとも対象とする。世界中で多様な展開を示す、こうした「シングル」というあり方自体を問題化することは、逆説的ではあるが、これからの家族について考える視座を示すことにもなる。

◆事務局からの連絡

一 会費納入のお願いと連絡

年会費は、個人会員は三〇〇〇円です。今回は会費未納分のある方に振込用紙を同封しております。住所ラベルの右下の既納年度(二〇〇八年九月二〇日現在)が更新してありますが、同日以降の振込み、および行き違いの節はご宥怒ください。また、学校法人名で振り込まれるときは、必ず通信欄に会員氏名をお書きください。

二 『比較家族史研究』バックナンバーについて

『比較家族史研究』の既刊分の総目次はHPに掲載予定ですが、既刊分一三号までは一冊五〇〇円に値下げして販売しております。なお、創刊号から四号までは在庫がありません。購入希望の方は、学会事務局

へご連絡ください。

三 二〇〇九年度研究大会について

二〇〇九年度の研究大会は、二〇〇九年六月二〇日(土)二一日(日)に、大阪大学で開催する予定です。理事会は一九日(金)になります。発表募集等は、後日あらためて行いますので、お待ちください。

四 事務局連絡先

前回の「お知らせ」でご連絡いたしました。六月より事務局が左記の通り、お茶の水女子大学にかかりました。

〒一〇二一八六一〇 東京都文京区大塚二一
一〇一 お茶の水女子大学大学院人間文化創
成科学研究科 小玉亮子研究室 気付
電話&FAX: 〇三―五九七八―五三四二

(事務局専用アドレス)

◆理事会・総会報告

(理事会議事録)

日時 二〇〇八年六月二〇日(金)

一八時三〇分

場所 東北大学文学研究科棟五階五二一演習室

習室

出席者 三八名(委任状を含む)

議題

一 新入・退会会員の承認

今回は入会希望者の承認はなく、板垣文・佐藤典子・尾藤正英・田中茂樹の四名の退会が承認された(敬称略)。また、新入・退会希望の承認については、迅速に対応するため、今後はメールでの持ち回り審議とすることになった。

二 比較家族史研究について

『比較家族史研究』一三三号の編集方針および進捗状況について報告された。

三 シリーズ比較家族について

早稲田大学出版会との交渉の経緯が報告され、今後の方針については、次期理事会で審議することとなった。

四 次回以降の研究大会および秋季研究大会について

二〇〇八年度秋季研究大会は、一月八日に椋山女学園大学で行われることが確認された。また、第五二回研究大会については、大阪大学でお願いできないか検討していただくことになった。

五 二〇〇七年度決算および会計監査の結果について

二〇〇七年度決算および会計監査の結果

について報告があり、了承された。

六 二〇〇八年度予算について

二〇〇八年度予算について報告があり、了承された。

七 推薦理事の補充について

現在、推薦理事一名が欠員状態にあり、東京周辺で事務局のお手伝いができる方を探してお願いできないか、次回の理事会までに検討することになった。

八 その他

二〇〇九年に日本学術会議基礎法分科会シンポジウムが「家族」をテーマとして開催され、本学会が幹事を務めることが報告された。送料削減にもなることから、今後、理事会の案内はメーリングリストで行うことになった。

(総会議事録)

日時 二〇〇八年六月二三日(日)

一一時四〇分～一二時三〇分

場所 東北大学川内北キャンパス マルチ

メディア教育研究棟二〇六号室

「マルチメディアホール」

一 役員選挙の結果報告と新会長の承認について

事務局より役員選挙の結果および理事の選出についての報告が行われ、戒能民江先生の会長就任が了承された。また、理事の役割分担についても報告された。

二 新入会員・退会会員について

四名の退会が承認されたことが報告された。

三 比較家族史研究について

『比較家族史研究』二三号の編集方針および進捗状況について報告された。

四 シリーズ比較家族について

早稲田大学出版部の組織変更に伴い、今後の対応をどうするか、状況をみて検討していくことが報告された。

五 次回以降の研究大会および秋季研究大会について

二〇〇八年度秋季研究大会は十一月八日に椋山女学園大学で行われること、第五二回研究大会については現在交渉中との報告がなされた。

六 二〇〇七年度決算および会計監査の結果について

二〇〇七年度決算および会計監査の結果について報告があり、了承された。

七 二〇〇八年度予算について

二〇〇八年度予算について報告があり、了承された。

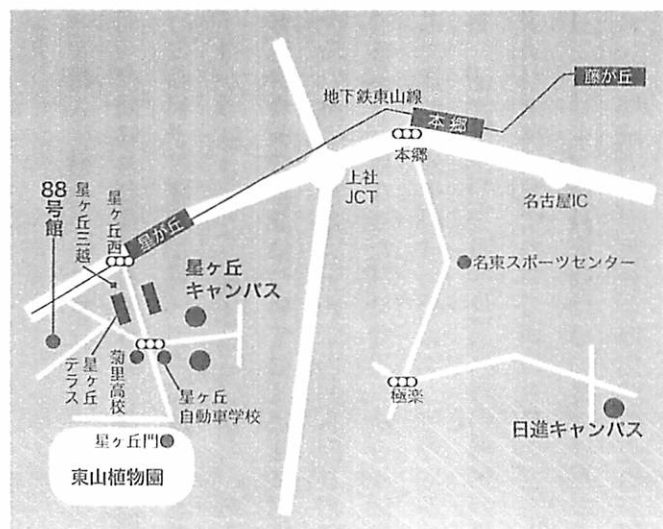
◆新入会員

長坂格 (新潟国際情報大学情報文化学部・准教授)

藤井美穂 (京都大学地域研究統合情報センター 1・研究員)

賽漢卓娜 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻・博士後期課程)

(以上、敬称略)



第51回大会会場案内図